



今年もありがとうございました！

図書館も今日が仕事納め、明日から1月3日（木）までお休みさせていただきます。

今年も、図書館後援会、ボランティア、各機関の方々のご協力を得て、さまざまな事業を行うことができました、ありがとうございました。

❖ 図書館後援会の会報から

大館市立栗盛記念図書館後援会を皆さんご存知でしょうか。平成3年8月に第1号の会報を発行し、今月55回目の会報を発行しています。図書館での事業も「図書館でホッとタイム」や「徒然草を読む会」「文化講演会」など、図書館と共催ですが、ほぼ自主事業のように実施していただいております。会報の「話の泉」のコーナーに「基本的な部分を守りつつ活動的な図書館へ」と図書館の活動を3つ紹介していただいております。

一つは「にぎわいひろば『ことりのさえずり』」。もう一つが「ゆめ拓く男塾～もうひとはなさかせるために～」そして学校図書館支援の「飛び出す図書館司書」です。

「図書館は静謐なところか」ということを以前書かせていただきましたが、会報の言葉を借りれば、「旧来の図書館のイメージは本好きな人は黙々と読書をする、調べ物をする人は資料をめくる―その場を提供する場だった」とあります。これが図書館の基本であり、既存部分はそういった部分であり続けると考えています。一方、増設された多目的室、ラウンジにより、図書館は「静謐な場所」だけではなく、市民の要望に応えながらさまざまな活動ができる場に変化していきます。その点もしっかり書いていただきました。

❖ にぎわいひろば「ことりのさえずり」

会報では的確な表現で紹介しています。（「」内引用）

本事業は「知的障がい者、そのご家族対象に来館のきっかけづくりとして」毎月第3土曜日の10時から行っています。コーヒーを飲みながら、お菓子を食べながらおしゃべりしたり、一緒に歌ったりして午前中を過ごしていただいております。最終的には毎回プログラムを決めなくてもわいわいがやがや、おしゃべりだけでもいいのではないかと考えています。当事者の方にとっては、こんな場所（図書館）があると知っていただき、ほかの利用者の方々には、「にぎやかだなあ、何やっているんだろう」と興味を持って入ってきていただく。障がいのあるなしにかかわら

ず、一人の人間として一緒の時間を過ごしましょうよ、という場になってくれたらと担当者ともども願っています。

❁ゆめ拓く男塾

これは読み聞かせの読み手養成講座として、最終的に女性も参加し実施しました。東京都健康長寿医療センターのご協力の下、5日間全9コマで、読み手の養成にとどまらず、グループで活動することの良さ、大切さ、グループ力を学ぶ機会となりました。

受講者は今後の活動に向けての話し合いを進め、虎視眈々と活動の場を狙っています、乞うご期待！です。

❁飛び出す図書館司書

学校への支援は昨年度まで、たとえば図書委員の子どもたちへ本の修理の仕方研修会だったりのお手伝いはあったものの、今年度は少し長めに学校へ派遣し、子どもたちの読書環境の整備を行ってきました。小学校がほとんどでしたが、中学校へも行っています。

学校の状況に応じて、いかに図書館に子どもたちを呼び込むかを職員（飛び出した司書）が学校と協力し工夫してくれています。

❁来る年も。。。

後援会会報に掲載していただいた図書館の活動を紹介してみました。会報は図書館（栗盛）にありますので、ぜひお手にとってごらんください。

図書館は1月4日（金）から開館いたします。

栗盛記念図書館では、正月明け早々5日（土）に「お正月を遊ぼう！」として「大館ふるさとカルタ」をはじめ昔ながらの遊びを楽しみたいと企画しています。

来る年が皆様にとって知の宝庫である図書館を大いに活用していただき、読書三昧で、佳き年となりますよう、お祈りいたします。（保）